



T-Lion Voice Home

T-Lion (The Triumphal Lion : ザ・トライアンファントライオン)
※Triumphant=「勝利を得た」「意気揚々とした」の意

第13号

- 2021年度 社会貢献活動に関する各種の取り組み
- 2021年度 公開講座等実施報告

社会貢献に期待される人材の育成

2021年4月1日に社会貢献推進機構下の「スポーツプロモーション・オフィス」 オフィスディレクターに任命されました後藤彰です。どうぞよろしくお願い申し上げます。

本学における社会貢献活動は、建学の精神（基本理念：創立の想い、設置目的）のヴィジョン（目標：目指すべき姿、将来像）において、「あらゆるステークホルダーとの関係強化を図るとともに、国内外の諸機関との連携・協力関係を構築し、本学の教育・研究活動の成果、人的・知的財産などを還元する。

これにより生涯学習の機会を提供し、地域の教育、福祉の発展に貢献するとともに、大学と社会との「知と技」の好循環を創出することにより、地域社会の力を引き出す大学として、その拠点を形成する。」と示されています。

特に、国内外の諸機関との連携・協力関係の構築のもと、本学ならではの歴史と伝統により発展充実してきた教育・研究活動の成果や、人的・知的財産などを還元することは、建学の精神に基づく重要な目標です。

今年度も新型コロナウイルス感染拡大防止対策の中ではありますが、教育関係機関や地域住民・関係団体等から本学への社会貢献に対する期待は依然として高いものがあります。そのため、新型コロナウイルス感染防止対策を十分に図った上で開催の仕方を工夫するなどして可能な限り講座等を実施し、参加された地域の方々や子どもたちから、講座内容の充実とともに、感染防止対策に対しても一定の評価をいただいているところで

す。

今後とも、新型コロナウイルス感染防止対策等を図った上で、実施可能な講座等を進めてまいります。

また、社会貢献のニーズとして本学で学んだ専門性を活かしたボランティア活動への寄与も求められています。その一つが小学校における体育授業や体育行事等への支援、中学校等における運動部活動への指導補助・支援等です。

このように、人間性や社会性に加えて専門性も求められていることから、本学独自の資格制度を創設し、大学でどのような専門性を学び身に付けているのかを明確に示す証を資格として付与することを進めています。各専門性に関する科目等を学び修得した証としての資格です。ボランティアを依頼する側にとっては、人間性や社会性だけでなく、本学ならではの質の高い専門性を身に付けた学生であることがこの資格によって確認できるシステムでもあります。

今後とも、生涯学習の機会を提供し、地域の教育、福祉の発展に貢献する大学として、歴史と伝統のもと着実に歩みを進めてまいります。どうぞよろしくお願い申し上げます。



社会貢献推進機構 オフィスディレクター
スポーツ文化学部 教授

後藤 彰

東京2020オリンピック・パラリンピックボランティア

全学生にアンケート調査(回答期間9/16~10/13)を行った結果、大会ボランティア504名、都市ボランティア22名、その他ボランティア66名、アルバイト268名が参加したと回答がありました(複数回答可)。大会ボランティアは競技大会組織委員会が運営し、競技会場や選手村等における大会運営活動、都市ボランティアは東京都などの自治体が運営し、主に観光・交通案内をしました。その他ボランティア、アルバイトと回答した者の活動は、聖火ランナー、SNS監視活動、英語翻訳、練習会場での救護などでした。オリンピックのみ参加した者は560名、パラリンピックのみ参加した者は94名、両方に参加した者は192名でした。参加理由は「オリンピック・パラリンピックに関わりたいため」が一番多く、次いで「一生続く思い出のため」でした。コロナ禍で運営が難しい中、各々のスキルを活かし、工夫して大会運営を支えました。

社会貢献活動に関する各種の取り組み

体育・スポーツ活動支援、教育活動支援、地域ボランティア等

体育・スポーツ活動支援においては、世田谷区立中学校・横浜市内中学校の部活動支援、埼玉県運動部活動インターンシップ、横浜市内地域施設内のバドミントン技術指導やボッチャ体験会支援、アルバルク東京ホームゲームでの和太鼓演奏などに延べ109名を派遣しました。今年度は横浜マラソンや青葉区民マラソンはオンライン形式で行われ、青葉区民マラソンでは、入江聖奈(3年・ボクシング)が公式アンバサダーを務めました。教育現場では宿泊行事引率補助や年間を通しての学級運営・学校行事支援、配慮を要する児童・生徒への支援、水泳指導補助などの依頼が世田谷区・横浜市の教育委員会をはじめ、目黒区、北区、東京学校支援機構(TEPRO)、各学校からあり、延べ184名の学生を派遣しました。多岐にわたる実践的な活動は、教員を志す学生にとって貴重な機会となっています。インターンシップや地域ボランティア実習を履修している学生は実習先として参加することもありました。地域ケアプラザの膝痛予防講習会に教員・学生を派遣、青葉区の美術展運営や地域ラジオの学生パーソナリティなどにも参加しました。



地域美化活動・防災訓練

学友会総務部主催のキャンパス周辺地域の清掃活動「クリーン大作戦」は新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により、2回の実施にとどまりました。(クラブ・サークル学生105名) 東京・世田谷キャンパス周辺地域の方と共に深沢まちづくりセンター主催の古着・古布回収に寮生・カヌー部有志10名が参加、桜新町新和会主催のゴミゼロデーに寮生10名が参加しました。横浜・健志台キャンパス周辺地域の方と共に青葉台商店会フラワーロード活動2回(ラグビー部9名、サッカー部12名)、青葉台駅周辺において特別詐欺撲滅キャンペーンのチラシ配布(サッカー部3名)、その他、スケート部による公園見回りの防犯活動3回(延べ22名)、サッカー部による見守り・環境美化活動4日間4回(延べ99名)行いました。また、地域の心肺蘇生法、防災関連の講習会に保健医療学部の教員や学生を派遣しました。横浜・健志台キャンパスで行う防災訓練は、10月から1月に延期しましたが、新型コロナウイルス感染症(オミクロン株)の感染拡大に伴い、やむを得ず中止しました。地域自治会・町内会に防災関連資料(青葉区役所、青葉消防署等より)を配布しました。



公開講座

新型コロナウイルス感染症対策のため、一部、対面からオンラインへ開催形式を変更、開催日を延期し、「公開講座等の実施に関するガイドライン」に基づき感染症対策を行って開催しました。参加人数は延べ1191名。詳細は、本誌「公開講座実施報告」のとおりです。今年度は、東京オリンピック・パラリンピックが開催され、そのムーブメントを継続して日本のスポーツの価値を高めるために特別講座として「女性アスリートトークセッション」を座談会形式、オンラインで開講しました。ファシリテーターに村田由香里(准教授・新体操)、アスリートに阿部詩(3年・柔道)、辻沙絵(助教・パラ陸上)、土井畑知里(卒業生・トランポリン)、小幡真子(卒業生・バレーボール)の各氏を迎えました。日々厳しいトレーニングに励んでいるアスリートが女性ならではの困難や悩み、対策に焦点を当て、自らの経験を語り合いました。受講者からは、自分の競技生活に活かすことができる、自分を見つめ直すことができた等の声をいただきました。



体力測定

2010年度から高校生以上を対象に、地域住民(東京都世田谷区及び横浜市青葉区)の方に体力測定を実施しています。昨年度は、新型コロナウイルス感染症対策のため、郵送による健康調査を行いました。今年度は、昨年度健康調査に回答した65歳以上の方を対象に、事前申込制で実施しました。測定内容は、①形態測定 ②血管年齢測定 ③全身反応時間 ④30秒椅子立ち上がり ⑤握力 ⑥8フィート歩行 ⑦長座体前屈 ⑧ロコモ度テスト ⑨骨密度測定 ⑩認知機能測定 ⑪遺伝子検査 ⑫カウンセリング(希望者のみ)。東京・世田谷キャンパス(11/6・7実施)は67名、横浜・健志台キャンパス(11/20・21実施)は88名の参加がありました。測定結果は研究活動で活用させていただくことができますが、個人が特定されない範囲とします。実施は、岡本孝信教授、菊池直樹准教授、大田崇央助教ほか、岡本ゼミ生、菊池ゼミ生が担当しました。本学は地域住民の方の健康状態を追いかけています。



日体大スポーツフェスタ2021（小学生向けスポーツ体験教室）

昨年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大により開催できませんでしたが、今年度は定員を減らして実施しました。「日体大スポーツフェスタ」は小学生対象のスポーツ体験教室で、東京・世田谷キャンパス(12/18実施)には400名を超える応募があり、抽選となりました。Aコース(野球・少林寺拳法・トランポリン)、Bコース(ハンドボール・アルティメット・ダブルダッチ)を選択し、125名が参加しました。競技解説や模範演技も行い、スポーツへの関心や理解を深め、スポーツを「する」ことの楽しさを子どもたちに体感してもらいました。また、本学学生のキャリア形成支援の一環として、体験教室の指導のみならず受付や児童の引率に至るまで学生が担当し運営しています。感染症対策を行い、専門施設での工夫されたプログラムと明るく優しく丁寧な指導で、児童は笑顔で競技を楽しみました。

アンケートより(抜粋)「教え方が上手だった」(3年女子)、「少林寺拳法の実演がすごくかっこよかった」(1年男子)「皆さん礼儀正しくフレンドリーで安心してお任せできました」(5年女子母)

横浜・健志台キャンパス(1/23中止)は、Aコース(野球・インラインホッケー・体操競技 ※体操競技は見学のみ)、Bコース(ハンドボール・レスリング・体操)にて行う予定で、定員を上回るお申し込みをいただいておりますが、新型コロナウイルス感染症(オミクロン株)の感染拡大に伴い、やむを得ず中止となりました。



その他トピックス

◎ 第58回体育研究発表実演会

「維新～新たな始まり～」をテーマとし、伝統芸能(和太鼓)・チアリーダー・チンロン&セパタクロー・バレーボール・オリンピック・パラリンピック報告会・朝鮮大学校・新体操・体操競技・体操・トランポリン・集団行動・ダンス・エッサッサを横浜アリーナ(座席数を半数に減らして開催)に集まった約5,000人、LIVE配信では2,000人超に披露しました。本学公式YouTubeにアーカイブしていますので、興味のある方は是非ご視聴ください。この実演会に地域住民の方を約600名ご招待しました。

◎ 青葉6大学連携特別講座

青葉区が区内6大学と協定を締結して進めている連携事業の一つ。各大学の特色を生かした講座を無料で受講できます。昨年度に引き続き、オンライン形式で行われました。本学は12月5日(日)に白旗和也教授が「今がチャンス！運動遊び」をテーマに幼児期から小学校低学年の運動遊びの意義について講義し、青葉区民40名が受講しました。

◎ 事業委託

本学が持つ知的・人的資源を活用し、様々な分野での運営管理等業務を受託しています。世田谷区「障害のある人もない人も共に楽しめるスポーツ・レクリエーション交流活動」、東京都スポーツ文化事業団「誰もが楽しめるスポーツ教室」、「誰もが楽しめるスポーツ講習会」では、障がいの有無や体力の程度にかかわらず、スポーツやレクリエーション活動を楽しみ、仲間づくりをしていくことを目的とし、講師や学生を派遣しています。また、足立区教育委員会「幼児期の運動習慣向上のための運動遊び実施等」を受託し、園児たちの望ましい運動遊びの在り方の確立を目的とし、近藤智靖教授、齊藤多江子准教授、河田聖良助教、鈴木康介助教のほか児童スポーツ教育学部の学生を派遣しました。

◎ 自治体連携協定推進事業

学校法人日本体育大学は「体育・スポーツ・健康づくり」の各分野における一層の発展と更なる社会貢献をはかることを目的に、全国73の自治体と連携協定を締結しています(令和4年1月現在)。自治体の依頼を受け、地域住民やスポーツ指導者対象の講習会、新型コロナウイルス感染防止対策研修会等に講師として教員や学生を派遣しました。また、中山町(山形県)からの誘致を受けて、ソフトボール部が合宿を行いました。



社会貢献活動 (ボランティア)の 依頼について

地域や学校等で体育・スポーツの各種活動などにおけるボランティアをご希望される場合は、本学ホームページ(<https://www.nittai.ac.jp/>)にアクセスし、ページ右側のバナー「社会貢献推進事業～公開講座等開催のお知らせ～」から「社会貢献推進事業依頼書」をダウンロードし、必要事項を記入の上、メールまたはFAXにてご依頼ください。なお、申請書をご送付いただいてからお返事までは、通常1～2週間要すること、またご依頼行事の実施時期によっては派遣そのものが困難になることもございますので予めご理解・ご了承ください。

2021年度 公開講座等実施報告

場所	講座名	講師	日時等	受講者数
オンライン	筋トレ塾 2ヶ月間の自重トレーニング	体育学部 准教授 菊池 直樹	5/17(月)～7/10(土) 曜日時間選択 全16回 月・水18:30～19:30 土10:00～11:00 事前測定・事前指導・事後測定あり 一般(65才以下) 無料	44名 オンライン (延べ781名)
世田谷 オンライン	トレーニングのすゝめ ①②有酸素運動 心拍数指標でランニング ③筋トレの基礎 基本的な筋トレ方法	体育学部 准教授 菊池 直樹	①6/27(日) ②12/4(土) ③12/18(土) 14:00～16:00 一般、高校生 ¥1,000	①10名 オンライン ②24名 対面 ③28名 対面
世田谷	らくらくエアロビクス 楽しく心地よい全身運動	非常勤講師 三矢 八千代 大津 桂子 山口 圭子	①9/25(土) ②10/10(日) ③10/30(土) ④11/13(土) ⑤11/27(土) ⑥12/4(土) ①～③⑤⑥10:30～12:00 ④13:30～15:00 一般 各回 ¥1,000	①16名 ②15名 ③16名 ④13名 ⑤12名 ⑥15名 対面
オンライン	スポーツ・医療・文化考シリーズ 身体・教育・文化を考える。 ①身体 ②身体教育 ③文化 各回4名の講師による研究知見	久保山和彦 中里浩一 服部辰広 白石聖 松田康宏 松浪登久馬 福井元 横田匡俊 高荷英久 水嶋崇一郎	①9/26(日) ②10/31(日) ③12/26(日) 10:00～12:00 一般、高校生 各回 ¥1,000	①19名 オンライン ②13名 オンライン ③15名 オンライン
オンライン	女性アスリートトークセッション 本学ゆかりの選手による座談会	村田 由香里 小幡 真子 土井畑 知里 辻 沙絵 阿部 詩	10/18(月) 18:30～20:00 一般、中学生、高校生 ¥1,000	78名 オンライン
健志台	スポーツ救急 VRを使用した救命蘇生講習会 最新情報の提供、最新機器を使用	保健医療学部 准教授 鈴木 健介	10/23(土) 10:00～11:30 一般、中学生、高校生 ¥1,000 小学生以下 ¥500	15名 対面
健志台	災害時の対応講習会 災害図上訓練DIG 地図に情報を書き込み街を知る	保健医療学部 准教授 鈴木 健介	10/23(土) 13:00～14:30 一般、中学生、高校生 ¥1,000 小学生以下 ¥500	22名 対面
健志台	災害時の対応講習会 避難所運営HUG シミュレーションカードゲーム	保健医療学部 准教授 鈴木 健介	10/23(土) 16:00～17:30 一般、中学生、高校生 ¥1,000 小学生以下 ¥500	20名 対面
世田谷	産後母のためのヘルスケア教室 ストレッチ等心身のセルフケア	大学院 コーチング学専攻 助教 野村 由実	①11/3(水・祝) ②11/13(土) ③12/11(土) 10:30～12:00 一般(産後2～12か月女性) 各回 ¥1,000	①4名 対面 ②3名 対面 ③4名 対面
世田谷 健志台	体力測定 ①東京・世田谷 ②横浜・健志台 身体を把握し日常生活に活かす測定	社会貢献推進機構 スポーツ・プロモーション・オフィス	①11/6(土)・11/7(日) ②11/20(土)・11/21(日) 10:00～16:00 1時間毎人数制限 2020年度のアンケートに回答した65歳以上の方 無料	①67名 対面 ②88名 対面
横浜市内	地域の人々とワイワイ楽しく 障がいに関係なくスポーツで交流	スポーツ・プロモーション・オフィス 教授 野村 一路	①11/7(日)10:00～11:30 神奈川県立あおば支援学校 ②12/18(土)14:00～15:30 横浜市緑スポーツセンター ③1/15(土)10:00～11:30 横浜市立鴨志田緑小学校 一般 各回 ¥1,000 小学生以下 各回 ¥500	①16名 対面 ②18名 対面 ③12名 対面
世田谷	日体大スポーツフェスタ2021 in 東京・世田谷キャンパス 小学生を対象としたスポーツ体験教室	社会貢献推進機構 スポーツ・プロモーション・オフィス	12/18(日) 8:30～10:30、12:00～14:00 小学生 無料	125名 対面
オンライン	あつまれ！バレーボールの森 元日本代表選手による講義・座談会	益子 直美 大山 加奈 日本体育大学バレー ボール部女子	2/12(土) 13:00～14:30 小学6年生 無料	22名 オンライン
オンライン	オンライン学術セミナー 本学の研究成果を公開	総合スポーツ科学研究センター 体育研究所 オリンピック・文化研究所 スポーツ危機管理研究所 教育企画センター 社会貢献推進機構 スポーツ・プロモーション・オフィス	①第1回 コーチングを哲学する 5/27(木) 18:00～19:00 体育学部 准教授 佐良土 茂樹 ②第2回 子どもに短距離走を教える 6/24(木) 18:00～19:00 児童スポーツ教育学部 助教 鈴木 康介 ③第3回 運動と疫学から健康を考える なぜ体力測定は必要 7/15(木) 17:30～18:30 体育研究所 助教 大田 崇央 ④第4回 筋トレによる筋肥大メカニズム 10/21(木) 18:00～19:00 体育研究所 助教 小谷 鷹哉 ⑤第5回 子どもにおける身体活動研究の動向と今後の展望 11/18(木) 17:30～18:30 体育研究所 助教 城所 哲宏 ⑥第6回 母校の校歌になったオリンピック 1/28(金) 18:00～19:00 スポーツ危機管理研究所 助教 尾川 翔大 一般 無料	①102名 オンライン ② 81名 オンライン ③ 67名 オンライン ④ 68名 オンライン ⑤126名 オンライン ⑥ 34名 オンライン

「T-Lion Voice Home」第13号（令和4年2月発行）

発行：日本体育大学社会貢献推進機構 スポーツプロモーション・オフィス

【東京・世田谷キャンパス】〒158-8508 東京都世田谷区深沢7-1-1

TEL：03-5706-0911(直通) FAX：03-5706-0981

【横浜・健志台キャンパス】〒227-0033 神奈川県横浜市青葉区鴨志田町1221-1

TEL：045-507-1263(直通) FAX：045-507-4556

両キャンパス共通メールアドレス：shakaikouken@nittai.ac.jp

